



No.145

中部教区通信

日本基督教団中部教区
教区通信編集委員会
編集人所
発行所
電話
E-mail
振替口座
ホームページ

日本基督教団中部教区事務所
〒461-0009
名古屋市東区久屋町8の6
(052) 971-8497
ckyo@quartz.ocn.ne.jp
00830-7-52037
<http://uccj-chubu.com>



静まつて神の言葉を聴く マルコによる福音書4章35～41節

中部教区総会副議長 加藤幹夫

新型コロナウィルス感染症の拡大は、今も收まりません。教区総会は集まつての開催をさまざま検討しましたが、今まで書面による総会となりました。各教会・伝道所においても、さまざまな工夫をされていました。

コロナ禍において、インターネットをツールとした礼拝配信、会議が急速に進み、教区の会議でも用いられるようになりました。経済的にも利便性の上でも有効な手段といえますが、あらためて教会の礼拝とは何かが問われてきたと思います。特に、礼拝は、一
つに集まつて、主キリストを拝む行為が基本であることが再確認されています。インターネットは、伝道の一つのツールになりますが、信仰共同体である教会の土台にはなり得ないのでです。

でも自分を主とすることができるという落とし穴があります。自分の好きな情報を得て、自分の好きなように集会に参加できます。礼拝に行くことができないのではなく、礼拝に行かなくても良いと判断してしまう危険性をはらんでいます。

弟子たちは、主イエスと共に舟に乗り、そこで、嵐に出会いました。この聖書箇所は、嵐の中を漂う教会の姿と重ねます。しかし、人間の性の上でも有効な手段といえますが、あらためて教会の礼拝とは何かが問われてきたと思います。特に、礼拝は、一
つに集まつて、主キリストを起こり、舟は波をかぶつて、水浸しになっています。しかし、主は、眠つておられます。弟子たちは、イライラします。「先生、わたしたちがおぼれてもかまわないのですか！」

主は、今まで困つていていた。弟子たちは神である主イエスに助け、言葉をかけ、御言葉をもって支えてくれたのです。

しかし、今、救いの言葉があるインターネットは、講演ではありません。信仰

りません。求めても求めて解決しないのです。インターネットのように、すぐに解決ネットのように、すぐ解決の言葉が与えられないのです。主は言われました。

「黙れ！ 静まれ！」

この主の御言葉は、荒れ狂う風と湖に向かって発せられましたが、同時に、弟子たちの荒れ狂った心に響いたといえます。

今、わたしたちの時代は、情報の洪水、言葉の洪水に曝かれています。その言葉の中から、自分の好きな言葉だけを探し、自己満足に浸つている時もあります。しかし、人の言葉は、その時、その時に合わせられた御言葉として、よく耳にします。激しい突風が起こり、舟は波をかぶつて、嵐に呑まれ、揺さぶられてしまします。主イエスは、わたしたちが求める言葉を止めよと言われます。その主の言葉には神の力があります。荒れ狂つた嵐は静まり、心の嵐もまた、神を畏れる信仰へと変えられてゆきます。

弟子たちは神である主イエス

の伝達、そのやりとりを遠隔地にあっても可能としてくれます。しかし、神さまとの対話を、黙り続けておられる方を畏れることから始まります。弟子たちは、舟の中に主イエスが共にしてくださることを見失いました。主が黙つておられるからです。インターネットでいえば、通信障害が起こつた状態です。しかし、主はおられるのです。教会の土台は、この主の臨在にあります。そ

中部教区総会副議長 加藤幹夫

インターネットは、どこまで得ないのでです。

しかし、今、救いの言葉があるインターネットは、講演ではありません。信仰

の知識を増やすための講義でもないのです。情報として聞く説教は、福音を届けるツールにはなりますが、どこまで道具でしかないのです。説

中部教区総会を終えて 教区総会議長 田口博之

第71回中部教区総会は、昨年に引き続き議決権行使書による書面決議により行われました。昨年の夏頃より、新型コロナウイルス感染症は一年経つても落ち着かず、二〇二一年度の教区総会で二〇〇名を超える議員を一場に招集することは難しいことが予測されました。よって、東海側（名古屋）と北陸側（金沢）の二会場に分かれて行い、両会場をオンラインで繋いで行うなど様々な検討を重ねましたが、第三波が押し寄せた時点で集まつての総会開催は不可能と判断せざるを得ませんでした。

五月十八日に『総会議案・報告書』と各議案の賛否を問う「議決権行使書」を議員宛に送付し、六月十五日に教区監査委員立会いのもと集計及び開票を行いました。その結果、正議員一九七名中一七七名の返信があり、〈議案1〉「教区総会の議決権行使書による決議に関する件」について一七七名全員が賛成したことを六月二二日（火）開催の常置委員会で確認。教区総会の

成立を宣言しました。准議員については、意見書の返信があつた十二名を出席登録者としました。

書面決議をするにあたり、もっとも悩んだのは選挙方法でした。結果、教区三役選挙、常置委員選挙共、任期二年の再選を提案し、両議案とも賛成一七六、反対一により可決しました。コロナ下での教区運営を信任していただいたことを感謝しつつ、託された責任の重さを受けとめています。

宣教実施目標案については、基本的には昨年度からスライドしていますが、以下の三点を加えました。①教区活動を再検討し財政の見直しを進めることの具体的な方策として、各部各委員会のWEB会議を積極的に取り入れる。②緊急謝儀援助及び特別伝道費援助の実施。③日本基督教団の課題について理解を深める、の項目に「教団出版局の課題を覚えて祈る」を追記しています。



准允式

向にあります。各教会・伝道所からの財務報告を集計したところ、経常収入以上に経常支出の減少幅が大きいことが明らかとなりました。宣教実施目標案は、賛成一七五、反対二により可決されました。

その他、歳入歳出予算案をはじめ、すべての議案が全員の賛成により可決されました。特に予算案については、負担金について、昨年度10%の減免措置をした負担金と同額とするなど、コロナ下による財政状況の低下に配慮しました。会議費支出も予算の段階から縮小しています。教会記録審査については、教区総会開催中に行なうことが教区規則に定められています。そのため、議事録を総会に持参することが常でしたが、昨年に統一された地区ごとで行い、報告承認は常置委員会に付託されました。



逝去教師追悼祈祷会

②については昨年度実施したことを明記したのですが、コロナにより活動が縮小されためか、援助申請は減少傾

向にあります。各教会・伝道所からの財務報告を集計したところ、経常収入以上に経常支出の減少幅が大きいことが明らかとなりました。宣教実施目標案は、賛成一七五、反対二により可決されました。

書面決議をするにあたり、もっとも悩んだのは選挙方法でした。結果、教区三役選挙、常置委員選挙共、任期二年の再選を提案し、両議案とも賛成一七六、反対一により可決しました。コロナ下での教区運営を信任していただいたことを感謝しつつ、託された責任の重さを受けとめています。



逝去教師追悼祈祷会



准允式

2021～2022年度 中部教区三役・常置委員選挙結果 及び各部・各委員会委員選挙結果

三役

教区総会議長 田口博之(名古屋)

副議長 加藤幹夫(阿漕)

書記 尹 成奎(中川ぶどうの木)

常置委員

横山良樹(半田)、小林 光(熱田)、勇 文人(富山二番町)、小堀康彦(富山鹿島町)、吉澤 永(愛知)、地多政枝(松阪)、本弘禮子(津)、野村敏彦(名古屋桜山)、辻 康(四日市)、朝倉秀之(金沢)、衛藤慧志(尾張一宮)

各部

伝道部 [長]岩淵正樹(高藏寺ニュータウン)、前田真孝(出町)、牧野 純(桜木)、亀井拓也(如鶴)、大住共平(知立・碧南)、川上野ゆり(蘇原)、濱田真喜人(久居新生)

教育部 [長]松島保真(小松)、渡部和使(富山新庄)、有岡史季(敦賀)、臼田宣弘(世真留)、矢部 節(尾張一宮)、川上 侑(各務原)、丸田久子(幸町)窪田典代(如鶴)

社会部 [長]勇 文人(富山二番町)、釜土達雄(七尾)、栗原武士(城之橋)、前田和之(豊橋)、草地大作(名古屋中央)、真木芳子(鳴海)、若林治郎(田瀬)、蜂屋博寿(津)

教師部 [長]阿部 啓(豊橋中部)、吉川光太郎(福野)土肥 聰(金沢南部)、後藤真英(武生)、八束 清(御器所)、大塚信明(飛騨高山)、吉川 進(大台めぐみ)

財務部 [長]野村敏彦(名古屋桜山)、大友信一(安城)、加藤順子(名古屋中央)、牛木恵一(各務原)、三野慶仁(四日市)

宣教研究部 [長]吉澤 永(愛知)、小田部正一(シルバーホームまきば)、松島保真(小松)、尹 成奎(中川ぶどうの木)

人事部 [長]田口博之(名古屋)、加藤幹夫(阿漕)、尹 成奎(中川ぶどうの木)

常設委員会

互助委員会 [長]佐藤誠司(福井神明)、小堀康彦(富山鹿島町)、土肥 聰(金沢南部)、柳本秀良(岡崎)、木下喜也(金城)、西川幸作(中濃)、加藤幹夫(阿漕)、野村敏彦(名古屋桜山)

「障がい者と教会」委員会 [長]柳本秀良(岡崎)、和田芳子(東海)、田中文宏(名古屋桜山)、田中郷史(小牧)、水谷恵子(飛騨高山)、本弘禮子(津)

部落差別問題委員会 [長]安達正樹(名古屋新生)、西川幸作(中濃)、井幡清志(石動)、江連 実(豊田)、池田慎平(津示路)

愛知老人コミュニティーセンター委員会 [長]加藤幹夫(阿漕)、森松民子(赤池)、須田静代(名古屋中央)

特設委員会

教区史資料蒐集委員会 [長]加藤幹夫(阿漕)、松島保真(小松)、尹 成奎(中川ぶどうの木)、落合建仁(金城学院)

幼稚園問題委員会 [長]小林 光(熱田)、風間宣夫(高岡)、釜土達雄(七尾)、石原ゆかり(名古屋)、吉澤 永(愛知)、児玉剛則(金城)

教区通信編集委員会 [長]石田聖実(鈴鹿)、尹 成奎(中川ぶどうの木)、田口博之(名古屋)、須田静代(名古屋中央)

在日大韓基督教会との宣教協約推進共同委員会

[長]田口博之(名古屋)、尹 成奎(中川ぶどうの木)、木下喜也(金城)、加藤啓子(名古屋中村)

特別委員会

「原理問題」対策委員会 [長]片山博喜(枇杷島)、佐藤 徹(丸岡)、杉本 誠(西尾)、岩本和則(名古屋中村)、安達正樹(名古屋新生)、柳本伸良(華陽)、川上野ゆり(蘇原)

役員研修会実行委員会 [長]土肥 聰(金沢南部)、大澤正芳(金沢元町)、松島保真(小松)、虹釜和昭(金沢)

財政検討委員会 [長]加藤幹夫(阿漕)、佐藤誠司(福井神明)、尹 成奎(中川ぶどうの木)、田口博之(名古屋)、野村敏彦(名古屋桜山)

バイブルキャンプ実行委員会 [長]松島保真(小松)、吉川光太郎(福野)、榮 巍(春日井)、山本美保子(金城)

常任委員

監査委員 大住 元(豊山)、村山盛芳(南山)、齋藤 晃(鳴海)

* [長]は委員長、____は信徒



富山二番町教会 勇文人

輪島教会に八年、若草教会に十四年と中部教区石川地区で仕えてきました。さらに北陸の地で仕えることを主に新たに命じられて、「二十三年目の歩みを富山二番町教会で始めています。そして、同じ北陸であっても、能登とも金沢とも富山は違います。日々新たな出会いと発見を楽しんでいます。

りながら教会も実に個性豊かです。この富山二番町教会を通して、これまで一三〇年の間なされてきた神の業に思いを馳せながら、新しい神の業に参与させていただくなりを日々覚えています。就任式で誓約したように「この教会に招聘されたことを心から喜び、これを神の御旨であると信じ、主の栄光のためにその身をこの職にささげる覚悟」です。神の御心は、私たちの思いや力を超えて成ることを信じて、富山二番町教会に仕え、全体教会にも仕えていきたいと願っています。



若草教会 山本正人

主を拝します。この四月に、石川県金沢市にあります若草教会の牧師に着任しました山本正人と申します。三月

に東京神学大学大学院を修了しまして、新任教師として若草教会に参りました。私は東京神学大学に編入学する前に、別の神学校（東京基督教神学校、「東京基督教大学大学院」の前身校）を卒業し、キリスト教病院のチャップレンとして、また他教派の教会の牧師として計十年間奉仕して参りました。その奉仕を通して、更なる神学の学びと修道の必要性を覚え、再献身の思いただきながら「焦らずに」「楽しんで」牧会伝道に励んで参ります。どうぞよろしくお願ひいたします。主の平和

武生教会 後藤真英

中部教区の諸教会の皆様はじめまして。この四月より福井県の武生教会に着任しました後藤真英と申します。年齢は今年の九月で二十九歳になります。よろしくお願ひいたします。生まれて初めての北陸、福井での生活となります。

これまで、東北教区で二年、九州教区で四年、計六年間伝道師・副牧師として仕えてきましたが、初めて主任担任教師となります。福井地区の皆様をはじめ、教区での奉仕は初めてとなります。皆さまに色々と教えていただきながら「焦らずに」「楽しんで」牧会伝道に励んで参ります。どうぞよろしくお願ひいたします。この小さき僕のため、また武生教会のためお祈りよろしくお願ひいたします。

白銀教会牧師 石井和典

六月二〇日に勇文人牧師の司式のもと、牧師就任式を行うことができました。神と会衆との前で、誓約をしました。高鳴る心臓の鼓動によって、足が震えました。「神の口としてくださる」とのメッセージセージが勇牧師の言葉を通して、神の言葉として宣言されたからです。

牧師としていたいからも、私は「察しの悪い」子として育つてきました。以前から何度も、主からの語りかけと招きがありました。しかし、それらを受け止めているとは言いながら、実際の生活においては自分の言葉に従って歩むという愚かさを抱えながら歩んできました。あろうことか、教会共同体のリーダーがこれです。本当に申し訳ない思いでいっぱいです。しかし主は、毎日の早天礼拝を通して私を根底から搖り動かし、つくりかえ続けてくださっています。このようないうな愚かな私を引き受けたかった中部教区の皆様、白銀教会の皆様に心から感謝しております。

碧南教会 大住共平

主の御名を賛美します。皆様のお祈りとお支えの中で四月より碧南教会に着任しました。この度は知立伝道所と兼牧という

形での着任です。知立伝道所も碧南教会もそして私も「兼牧」は初めてですから、牧師も信徒も戸惑いと不安が大きい中でのスタートです。しかし西三河の地にあって礼拝と伝道をし続けるために、新たな希望に満ちてのスタートでもあります。何よりこの兼牧は主の召しによるものと受け止めていますから、何事も主の御心を問いつつ歩みますので、そこには主の支えがあることを確信し安心です。教区や地区の皆様の方々との交わりの中で、学んでいき、武生教会の皆様と共に、主にある教会形成をしていきたいと思います。この小さき僕のため、また武生教会のためお祈りよろしくお願いいたします。

豊橋東田教会 中島善子

東京教区で九年、東海教区で十九年、そして今年度からは、中部教区において奉仕させていただきました。高鳴る心臓の鼓動によって、足が震えました。愛知県は初めての土地で行つたばかりです。愛知県は初めての土地ですが、コロナ下という特殊な状況の中にありますから、諸教会とのお交わりも控えなくてはならず、知らないこと、分からぬことが多いあります。しかし皆様にご迷惑をおかけすることのないよう、主の御力により頼みながら、長老、教員の方々に支えられながら、主の御用に仕えてまいります。



蘇原教会に着任いたしました、川上野ゆりです。昨年度は各務原教会で担任教師としてお世話をなりました。今年度より、生活の場は引き続き各務原教会に置かせていただきます。蘇原教会へ通うという日々を送っています。蘇原教会に向かうには飛騨川沿いの峠道を通るのですが、大きな生き物のような山々、そして飛騨川眺めていると人間は本当に小さいなと感じます。蘇原教会の周りも自然豊かで、自分もまた自然の一員であることを実感しながら礼拝の時を過ごせることは恵みだなと思います。

これからも蘇原教会の皆さんと共に白川町の地にある教会として福音の伝道に務めていきたいです。このような状況下でなかなか教区の皆さんとお会いする機会がありませんが、皆さんのお上に神の守りがいつもありますようにお祈りしています。シャローム。

桃山教会 田中ケイ子



七歳の私・老愁期・少し不安です。そ

んな私が二〇二〇年七月、夫の隠退に伴い八月復帰しました。復帰の際の課題は新牧師館完成と桃山教会のビジョンと夢を一步でも進めること。今年の五月新牧師館が完成しました。旧

牧師館を整備して新たに用いられることを期待しています。主イエスの光を頼りに、示された道を勇敢に進む桃山教会を皆で作りたいです。

私は六・七月入院、手術をしました。これからどうするか、老愁期です。でも考える時間は十分。心配のし過ぎようがないほうがまだまし。人は一〇〇%死ぬものだ。無駄な抵抗をやめよう。気負わいで淡々と流れに乗ろう。多分、私は教会が好きなのだ。みんなと一緒にいるのが好きである。許されるまで教会に居よう。ただ教会の人には「困る人」になつたら進言してほしいと頼んでいる。

蘇原教会 川上野ゆり



着任して ひとこと



金城学院中学校 北川美奈子

この度、神様の導きにより、金城学院中学校宗教主事に着任いたしました北川美奈子と申します。今年三月末までの二年間は、東京教区の三軒茶屋教会を本務教会、西東京教区の国立教会を兼務教会として、二つの教会の牧師として歩んできました。それ以前も、駒澤教会、狛江教会の牧師としての歩みでしたので、非常勤講師として学校に仕えた経験はあるものの教務教師として学校に仕えることは初めてです。

代々木中部教会の牧師である夫の北川正弥と結婚した時に別々の教会に仕える時が来ることは想定し、実際に八年間、別々の教会に仕えてきたのですが、まさか東京と愛知に離れることになるとは想定外でした。

私たちの想像をはるかに超えて導かれる神様が、万事を益としてくださると信じ、主に仕えていきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

紀伊長島教会 森下 研



主の御名を贊美いたします。

二〇二一年四月一日、紀伊長島教会に着任しました伝道師森下研です。二〇二〇年からの新型コロナウイルスの世界的な感染の拡大の中、紀伊長島教会も様々な制限、縮小せざるを得ない伝道活動を行ってきました。しかしながら神はこのようない時に、何を私たちに語られるのか。畏れと期待をもつて主とともに歩んでいきたいと思います。

紀伊長島は海と山に囲まれた自然豊かな地であります。この地において教員の皆さまと、地域に根差した宣教を目指し、主とともに歩んでまいります。また、紀伊長島教会は大台めぐみ教会、尾鷲教会と共に「紀勢ブロック伝道圏」において五十年以上にわたって伝道協力をを行ってきました。これからも合同礼拝、講壇交換など引き続き行つてまいりたいと思います。今後も主にあるお交わり、ご指導をいただけますようよろしくお願い致します。栄光在主



巡回教師 金 承哲

二〇二一年三月末をもつて、中京教会の担任教師を辞任し、中部教区の巡回牧師となりました。二〇一二年、当時の中京教会の高橋潤牧師（現銀座教会牧師）や教会の皆様、教区の先生方のお祈りの中で、中京教会の担任教師に就任いたしました。中京教会は、教会による宣教活動とともに、教育機関を通してキリストの福音を宣べ伝えることを長い伝統として両立してきたと伺い、大学で務める私にとってとてもありがたいことでした。微力ながら、牧会活動に協力させていただくことにより、多くのことを学ばせていただきました。

無牧の教会も増えている中で、「教区からの派遣により巡回伝道および問安に従事する」巡回牧師として、何かお手伝いできればと願っております。今後の歩みの上に、神様の御導きをひたする祈る次第です。

が集まる東京の富士見ヶ丘教
キャンプ当日、賛美スタッフ
として、いよいよバイブル
タップたちも思いを新たに準
備しました。

キャンプ発足の功労者でもあ
りますが、今回もオンライン
でのキャンプの進め方につい
て、教えられることばかりで
した。特に、オンラインでの
モットーは「画面の奥に福音
を届ける」ということで、ス
タッフたちも思いを新たに準
備しました。

（金）に、バイブルキャンプ
が行われました。バイブルキャ
ンプは、中高生向けの泊まり
の会として発足したキャンプ
で、今回で第三回となります。
昨年も泊まりの会を予定して
いましたが、新型コロナウイ
ルスの影響で中止にせざるを
得ませんでした。そこで、今
回は早くからオンラインで実
施することを決定していまし
た。

講師は、K G K（キリスト
者学生会）前総主事で鳩ヶ谷
福音自由教会牧師の大嶋重徳
先生です。大嶋先生は、第一
回の講師でもあり、バイブル
キャンプ発足の功労者でもあ
りますが、今回もオンライン
でのキャンプの進め方につい
て、教えられることばかりで
した。特に、オンラインでの
モットーは「画面の奥に福音
を届ける」ということで、ス
タッフたちも思いを新たに準
備しました。



実行委員会 木下喜也

『コロナ禍と「障がい者と教会』 を発行して

いつも交流集会、地区集会で
ご一緒に顔を合
わせて聴き合い、
話し合ってきた
わたしたちが、
新型コロナウイ
ルスの感染防止
のために「集ま
ること」ができなく
なってしまいました。さあ、どうしようか、と思
ったとき、「人との距離を置く」ことが求め
られる中、一番辛い立場に置かれてしまう
のが「障がい」を持つ方々であり、その辛さ
を発信していかなければならぬと思わ
されました。ぜひお読みいただいて、「障がい」
を持つ方々の状況を知っていただくことを
通し、やっぱり人は「かかわり合わないと生きていけない」「かかわり合うことで生きていける」ということを、実感していただけたらと思います。今はちょっと離れている人と
心で思い合い、感染が落ち着いたら「さあ、一緒に何をしようか」という気持ちになつて
いただける1冊です。

コロナ禍と 「障がい者と教会」

2020年度
日本基督教団中部教区
「障がい者と教会」委員会

「障がい者と教会」委員会 和田芳子

2021年 教師研修会の恵み

2020年当初から世界に広まった
新型コロナウィルスのパンデミックは、
教会の礼拝の姿を一変させた。3密
回避、外出自粛という社会の要請に、
教会は礼拝の出席形態を変形させ、
信徒も礼拝出席を“自制”する未曾
有の時代になった。

1年余の経験を越えて、改めて礼
拝のあり方を考えるべく、講師に東京
神学大学教授小泉健牧師をお迎え
し、教区教師研修会が6月に52名の
教師が参加してリモート形式で行わ
れた。初日に講演の中で、1.御言葉
による礼拝、2.聖餐を祝う礼拝の2部
に分けて語られた。

礼拝への招集という視点で、教会
の礼拝には、離散している者たちが
一つに集められ、神の御前に帰って
来ることに基本の姿がある。また、主
日の礼拝時刻に礼拝堂にて神を待
ち望む聖徒は、時をささげて聖別さ
れ、また礼拝場所に体を運んで共に
居ることで聖別される、と明確な望
みを与えられた。今、教会が見失い
そうな原点である。

ローマ12:1で示される全人的な礼
拝は、主日礼拝でキリストの命を受け
取り、自分の命を献げることで成就さ
れる。コロナ禍での礼拝の形態変化
は、これら礼拝の本質を念頭に置か
なければ、後戻りできない本質変化
となるでしょう。

逆に、これまで礼拝に集えない
人の礼拝支援が十分に行われてき
たか、再考する機会ともなっている。多
くの教会で、土曜日までに説教要旨を
含む週報を配布し、主日にはオンライン
で礼拝の様子を配信して、礼拝の
同時性を担保する努力が続けられて
いる。オンライン礼拝の配信で家庭礼
拝が充実できる恵みの時代であるが、
距離感を埋めるに足る、さらなる充
実が課題ともなる。

聖餐の祝い方についての内容が、
2日目の主な質問となった。パン割き、
杯の分け合いの意味、一人のキリスト
の体の共同体性が失われる個人化
に警鐘が鳴らされた。

グループタイムでよい交わりが与
えられて有意義でした。

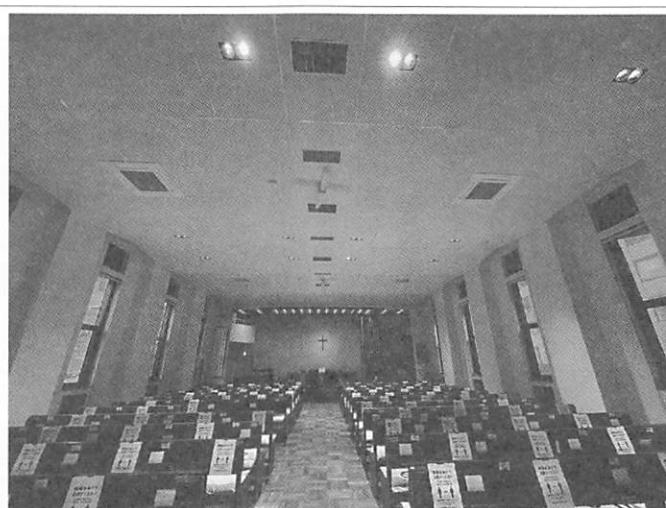
教師部 吉川 進

画面の奥に福音をバイブルキャンプ報告

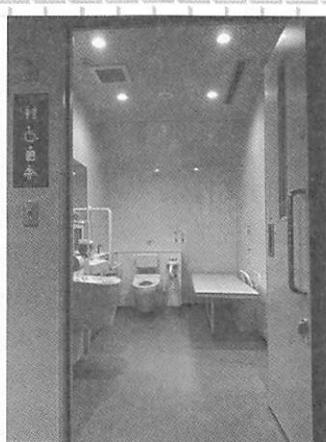
礼拝堂のある本館が築五十年、エレベーター棟（新館）が築二九年を経過、頑丈な鉄筋コンクリート造りの建物ですが、人間同様、年月と共に劣化が目立つきました。そこで、将来検討委員会を立ち上げ、約二年半、話し合いま

に教会活動は制限されていました。しかし、部会を通して要望を集めし、定期的に業者との打ち合わせを行うなど、一つ一つ進めました。幸いにも、無事事故、関係者の方々の健康も損なわれることなく、神様の恵みを実感いたしました。

今回の工事の目玉の



名古屋中央教会 第1期改修工事を終えて



した。結論は、この先三十年間、修繕・改修をしながら大切に建物を守っていく。そして今年の一月、礼拝堂・隣接の部屋・エレベーター棟の各施設の修繕・改修工事が始まり、予定どおり六月に完了しました。この間、新型コロナウイルス感染防止のため

のトイレを新設したことです。

名古屋中央教会将来検討委員会

委員長 堤 肇

間もなく次の工事の計画に着手します。向こう三十年先

間もなく次の工事の計画に着手します。向こう三十年先

とりわけ多目的トイレは注目です。大きめのシートもあり、誰でも安心して使用出来ます。

勿論、防犯面も考慮されています。とにかく、装い新たな礼拝堂、トイレを是非ご覧ください。ダウンライトの照明、無垢材（桜の木）の木肌がよみがえった素晴らしい床等々を。

間もなく次の工事の計画に着手します。向こう三十年先

とりわけ多目的トイレは注目です。大きめのシートもあり、誰でも安心して使用出来ます。

岐阜地区十八年、愛知西地区二十三年、都合四十一年間中部教区でお世話になりました。隠退は有難うございました。隠退は体調不良と体力低下により気力・集中力が続かなくなつたことで決めました。教会の引継ぎは、引退していた妻が復帰し主任になることでスムーズに移行しました。しかし、それによつて教会を離れることができず、事務手伝いや庭の世話、営繕などをしながら以前とあまり変わらぬ日々を送っています。それでも、責任から外れたことは随分と気が楽になりました。神の言葉を伝える重さを改めて感じさせられています。引退した牧師が同じ教会に残ることは是非が問わることもありますが、私としてはもとより影の薄い：喫茶店でも店員さんが気付いてくれない：存在ですから、このままで、いつの間にかいなくなつても影響がないと自虐しています。教区

までの道のりには課題が山積でしようが、今年度の教会聖句「人間の心は自分の道を計画する。主が一步二歩を備えてくださる」（箴言十六章九節）を心に留めつつ歩んでまいります。教区のお力をお借りすることがあるかも知れません。その節はよろしくお願ひします。

羽昨教会に、小さなオリーブの苗木を何本か植えた。毎年少しずつ。献堂式から二〇二二年で十周年を迎える教会の土地に夫が植え始めると、教会員や礼拝出席の求道者が、自宅で実を付けなかつたオリーブの木を持ってきた。

白い花が咲き、数年目に実を付けた。今年は、緑の実がたわわに実つている。創世記では、洪水後の箱舟からハトが飛ばされ、オリーブの葉を加えて戻ってきた。

福音書ではゲツセマネと言われる園、オリーブの木の上で十字架の直前、主イエスは祈られた。

パウロは、ロマ書においてオリーブの木を異邦人の救いについての譬えとして解き明かした。

聖書を生き生きと語りたくて、オリーブの葉を、幼稚園の礼拝のお話の中で子ども達に見せてみる。小学校一年に災害の多発する、コロナ禍の現代にあって、主と共に平和を祈りつつ、良い実を結ぶために。

隠退して

田中孝博

るほの声

伝道活動援助費は収入の少ない教会・伝道所を支援するため設けられています。かつては二種教会と伝道所でしたが、二〇〇九年度より一種教会も含めて前年度経常収入が六〇〇万円未満の教会が対象になりました。今年度の教区の予算は九十万円です。原則として事業予算額の五〇%を上限に、最高十万円まで援助します。各教会・伝道所が毎年四月に教団に提出しているC表の「D. 経常支出の2. 伝道費」に該当するものを対象にしています。教会の看板等は、リスク契約や看板契約などにより支出が継続する場合は初回設置する場合は初回設置の範囲はあいまいな部分もあるので、援助対象かどうかの判断は筋を通しつつ柔軟に行われねばなりません。昨年度は、教会備え付け聖書の新調、『アバ・ルーム』誌の購入、ヒムプレーヤーの購入、教会ホームページの開設、クリスマス諸集会の開催、看板設置

伝道活動援助費について

うになった教会では、それがコロナ対策を越えて伝道に役立っているという報告も聞いています。苦境の中でも神さまは恵みを授けてくださるのです。

申請は各教会・伝道所が祈りをもって行い、それを地区会長が祈りをもって推薦し、伝道部が祈りをもって承認して励ますものです。教区の一人一人の祈りがこの援助の源泉に他なりません。キリストの愛に生かされつつ思いやりをもって苦しみと弱さを抱い合うのです。むしろ皆が苦悩している今こそ、絆を深めさらなる恵みを受ける良い機会ではないでしょうか。コロナ禍で閉塞感があり、伝道集会も開催しづらい状況が続いているますが、教区の皆さんと心を一つにして伝道部は諸教会・伝道所のために祈り続けたいと思います。

伝道部委員長 岩淵正樹

【第71回教区総会決定事項】

6月22日常置委員会にて

- 〈議案1〉教区総会の議決権行使書による決議に関する件（可決） 正議員197名中、議決権行使者177名全員賛成を確認、総会成立
- 〈議案2〉准允式に関する件（可決）
受允教師 森下 研（紀伊長島教会）
- 〈議案3〉教区総会議長選挙・教区総会副議長選挙・教区総会書記選挙に関する件（可決）
- 〈議案4〉教区常置委員選挙に関する件（可決）
- 〈議案5〉特設委員会継続に関する件（可決）
- 〈議案6〉2021年度宣教実施目標案に関する件（可決）
- 〈議案7〉2021年度歳入歳出予算案に関する件（可決）
- 〈議案8〉教会記録審査に関する件（可決）
- 〈議案9〉報告審査に関する件（可決）
- 〈議案10〉秋季按手礼式執行に関する件（可決）
- 〈議案11〉各部委員・常設委員詮衡に関する件（可決）

【常置委員会報告】

3月以降の常置委員会の主な決定事項（主なもの）

- 一、准允式に関する件 1件
- 一、教師に関する件 辞任10件、招聘5件、代務者辞任1、代務者決定2件、教務教師辞任2件、教務教師登録1件、巡回教師登録1件、隠退届1件
- 一、教会に関する件 宗教法人関係事務に関する件 1件
- 一、教区・教団に関する件
 - ・就任式8件
 - ・中部教区教師研修会に関する件

- ・新型コロナウイルス感染症に伴う教会財政援助に関する件 緊急謝儀援助申請（4教会・伝道所に合計40万円を執行）、特別伝道費援助申請
- ・赴任費援助に関する件 3件
- ・教団教師への転入審査志願者の教区推薦に関する件
- ・2021年秋季教師検定試験（補教師）の受験志願者の教区推薦に関する件
- ・各部委員・常設委員詮衡に関する件
- ・特設委員詮衡に関する件
- ・特別委員詮衡に関する件
- ・平和聖日献金 目標額を90万円
- ・中部教区互助制度を支える自主献金 目標額250万円
- ・教区新任教師オリエンテーション（予定）
 - 北陸側 11月8日（月）午前11時 於：城之橋教会
 - 東海側 11月16日（火）午後2時 於：名古屋中央教会
- ・「教団機構改定」に関する件
- ・社会部報告に関する件
- ・「信徒の友」に掲載する教会に関する件 東濃伝道圏の3教会

【教区だより】

- ◇病気見舞 ご快復をお祈りいたします
大澤みづき（金沢元町教会）、大住裕子（知立伝道所）
田中ケイ子（桃山教会）
- ◇結婚祝
落合建仁（金城学院）
- ◇出産祝
濱田真喜人（久居新生教会）5/8志津ちゃん
山田麻衣子・詩郎（名古屋北教会）7/7旅人君